

第 94 回企画展



我孫子市鳥の博物館
Abiko City Museum of Birds

とりホネ展

—骨からわかる鳥の進化と多様性—

内なる鳥との出逢い。



2025.

7.12(土) – 11.24(月・祝)

【開館時間】午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分（最終入館は午後 4 時まで）

【休館日】毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）

【入館料】一般 300 円、大学・高校生 200 円、70 歳以上※・中学生以下無料

※ 年齢を証明できるものが必要。提示がない場合は一般料金となります。

障害者手帳をお持ちの方は、本人と介助者 1 名まで無料

20 名以上の団体は入館料 2 割引

【問合せ】〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3（☎ 04-7185-2212）

Bird Skeleton Exhibition

鳥の体を支えるホネの魅力

鳥は、軽い体で空を飛び、空中や地上、水中で体を素早く回転できるしなやかな体付きをしている一方で、ツメやくちばしなどの硬い構造もあわせ持っています。このような体の特徴はどのような骨のパーツで成り立っているのでしょうか。

今回は、鳥の博物館がこれまでに収集・作製した骨格標本を通して、それぞれの鳥が環境やエサに対応して体付きを変えてきた歴史と、骨が持つ美しさについて紹介します。



▲ 翼の羽毛が付いたキジの骨格



▲ 水に潜る姿のスズガモの骨格



▲ ネズミを捕まえる姿のフクロウの骨格

ホネと剥製の「両取り」標本も多数展示

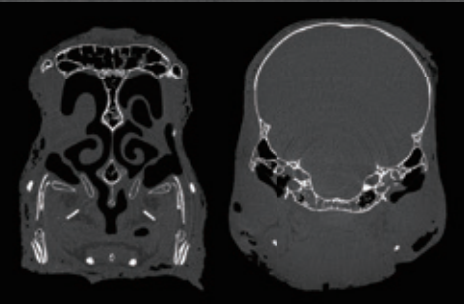
同じ鳥の個体から作られた骨格と剥製のコレクションも一挙に公開します。

展示室で
ホネの持ち主を探してみよう！

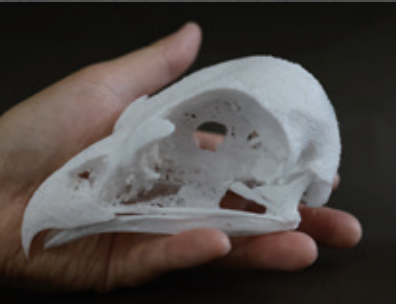


▲ 1羽のオオハムから作られた骨格（左）と剥製（右）

最新の技術で見て・触れて・体験する「とりホネ」



▲ CT撮影で見た頭骨の断面（オオバン）



▲ 触れる拡大レプリカ（トビの頭骨）



▼ 大きい爪のある足

▲ 下に曲がったくちばし

▲ 平たくて短い腕

企画展関連イベント

鳥博セミナー

※ 企画展担当の学芸員による講演

「鳥のホネが語る恐竜の痕跡」

鳥の骨に残された恐竜の特徴と、骨の形の進化について語ります。

日時 9/27(土) 14:00 ~ 15:30
場所 鳥の博物館 多目的ホール
料金 無料（別途入館料がかかります）
申込 先着 50 人
(9/13(土) ~ ちば電子申請サービスで受付)



「とりホネ関節模型を作ろう」

厚紙と割りピンを使った工作で、鳥の頭骨の動きを体験しよう。

日時 7/26(土)・10/13(月・祝) 13:30 ~ 15:00
場所 鳥の博物館 多目的ホール
料金 無料（別途入館料がかかります）
申込 各回ともに先着 20 人
(7/12(土) ~、9/29(土) ~ ちば電子申請サービスで受付)

企画展担当学芸員による展示解説

7/21(月・祝)・10/5(日)ともに 14:00 ~ 15:00 企画展示室にて実施。申込・人数制限なし。

(詳細は博物館ウェブサイトをご確認ください)

「とりホネパズル」

骨の並び方を覚えて、とりホネ博士になろう。

日時 9/20(土) 13:30 ~ 15:00
場所 鳥の博物館 多目的ホール
料金 無料（別途入館料がかかります）
申込 先着 12 人
(9/6(土) ~ ちば電子申請サービスで受付)

企画展記念スタンプは
ここにおしてね！

博物館へのアクセス

【公共交通機関】

JR 常磐線我孫子駅南口から市役所経由のバスで「市役所」下車
バス停から徒歩 5 分
※ 無料駐車場あり

【問い合わせ】

千葉県我孫子市高野山 234-3
☎ 04-7185-2212



X (旧 Twitter)



博物館ウェブサイト

